



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会

2012年度 事業報告

■ 2012年度事業の重点と成果

2011 年度に引き続き東日本大震災支援に取り組み、地震・津波に加え原発事故による甚大な被害を被っている福島県を中心とした復興支援に取り組んだ。また、ボランティアコーディネーションカ1 級検定をスタートさせ、1 級から 3 級までの検定システムを完成させ、ボランティアコーディネーションに対する社会的な関心の向上とコーディネーション力を持った人材の広がりにつながった。

▼重点 1

**ボランティアコーディネーションカ検定の
受験者拡大を通じ、ボランティア
コーディネーションの社会への浸透を図る**

- ボランティアコーディネーションカ 1 級検定をスタートさせ、認定ボランティアコーディネーターシステム開発に務めた。
- ボランティアコーディネーター倫理綱領を作成し、発表した。
- ボランティアコーディネーションカ検定は 1 級検定で定員を超える反響があり、3 級受験者もコンスタントに確保できた。一方、2 級については各会場定員を満たせなかった。
- 3 級共催検定は、5 回の計画に対し、4 回の実施にとどまった。

▼重点 2

**あらゆる組織・場面におけるボランティア
コーディネーションの実態把握と
組織評価へ着手する**

- 東日本大震災におけるボランティア活動とボランティアコーディネーションの実態を調査することを計画に掲げたが、具体的な取り組みに至らなかった。
- 組織内にボランティアコーディネーターを配置することに対する社会的評価や認知を得るための道筋をさぐるための取り組みとしては、専門委員会として「検定・認定プロモーション委員会」を始動させ、検定に合格することのメリットや合格者がいる組織に対する評価の方法、コーディネーターの処遇向上などをテーマに検討した。

▼重点 3

**「無縁社会」化を克服するためのつながりをつ
くるボランティアコーディネーション力をもった
人材の育成とネットワークを創出する**

- 東日本大震災の被害を受けた福島県を中心とした支援活動については、2011 年度からのトヨタ財団からの助成と、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議からの応援資金を得て、被災者に支援にあたるスタッフに対する研修の企画・実施に協力した。
- 仮設住宅等の避難者を支援する生活支援相談員に活用いただく「ハンドブック」作成に取り組んだ。

▼重点 4

**事業を実施するための
運営および事務局体制を充実し、
財源確保に努める**

- ボランティアコーディネーターの業務に役立てるために、ボランティアおよびボランティアコーディネーション、災害ボランティア活動などに関する文献や書籍を収集した。
- 2013 年度以降の財源確保については、具体的な対策に取り組むまでには至らなかったが、JVCA の財源構造やステークホルダーについての分析に着手した。

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2012」(東京)の開催及び評価

テーマ：「つなげよう 参加の力 ～“チカラになりたい”想いを生かすコーディネーション～」

期 日：2012年 3月3日(土)～3月4日(日)

会 場：立教大学 池袋キャンパス

共 催：立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 / 21世紀社会デザイン研究学会

分科会：29分科会

参加者：213人

実行委員：31人(別表1参照)

運営ボランティア：34人

講師・事例報告者等：45人(実行委員との重複あり)



実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
第10回	1月15日(日)	立教大学 池袋キャンパス	16人
第11回	2月2日(木)	東京ボランティア・市民活動センター	18人
第12回	2月19日(日)	立教大学 池袋キャンパス	22人
第13回	3月24日(土)	岸町ふれあい館(北区)	16人

全国ボランティアコーディネーター研究集会2012報告書の作成 200部印刷

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2013」(開催地：愛知県)の準備

愛知淑徳大学との共催により、愛知県名古屋市において全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)2013の開催を決定した。会場は同大学の星が丘キャンパス。

プログラムの企画・立案については愛知および周辺県のボランティアコーディネーション関係者で構成する実行委員会を設置し、本会理事である鈴木盈宏氏を実行委員長に選出。集会の名称については「全国ボランティアコーディネーター研究集会2013あいち・なごや」に決定した。

実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
準備会	4月24日(火)	名古屋市市民活動推進センター	5人
準備会	5月13日(日)	名古屋市市民活動推進センター	7人
第1回	6月17日(日)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	27人
第2回	7月20日(金)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	27人
第3回	8月20日(月)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	18人
第4回	9月9日(日)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	29人
第5回	10月1日(月)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	21人
第6回	10月20日(土)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	30人
第7回	11月11日(日)	日本福祉大学 名古屋キャンパス	29人
第8回	12月7日(金)	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	21人

(2) 研修の開催および研修企画の支援

・実務者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修 2回（関東1回、関西1回）

タイトル	期日・会場	講 師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修	6月8日(金) ふれあいケア四谷 (東京)	唐木理恵子 後藤麻理子	56人
第38期ボランティアコーディネーター養成講座 〈共催：大阪ボランティア協会〉	7月24日(火) 大阪NPOプラザ	石井祐理子 白井 恭子 梅田 純平 永井 美佳	46人

・実務者向け：ボランティアマネジメント研修 1回

タイトル	期日・会場	講 師	参加者
福祉施設・病院のための ボランティアマネジメント研修 〈共催：練馬区社会福祉協議会 ボランティア・地域福祉推進センター〉	7月2日(月) 練馬区役所 (東京)	後藤麻理子 樋口 実	22人

・ボランティアコーディネーター向けファシリテーション講座 2回（計画3回）

タイトル	期日・会場	講 師	参加者
ボランティアと向き合うことの多いあなたのための ファシリテーション講座 「もっと活動の ^{リフレクション} 振り返りを効果的に行いたい」	11月2日(金) 大阪NPOプラザ	加留部貴行	14人

<共催：大阪ボランティア協会>			
ボランティアと向き合うことの多いあなたのための ファシリテーション講座 「もっと活動の振り返りを効果的に行いたい」 <small>リフレクション</small>	11月13日（火） 東京ボランティア・ 市民活動センター	加留部貴行	10人



※検定の直前研修については（3）で報告

・研修への講師派遣

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVC Aの理事・役員等を派遣した。

派遣85件 研修日数108日 / 派遣講師 20人（実数）
（別表2参照）

（3）ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力1級検定試験の実施 1回

初のボランティアコーディネーション力1級検定には、募集早々に続々と申し込みが入り、締め切りを待たずに定員に達した。

開催地・会場	期 日	講 師 ・ 演習観察者	受験者
<第1回> 神奈川県横浜市 福祉保健研修 交流センター ウィリング横浜	7月14日（土） ～7月16日（月・祝） 1日目：直前研修 2日目：直前研修 3日目：直前研修 & 検定試験	筒井のり子、栗木 梨衣 妻鹿ふみ子、岩井 俊宗 上田 英司、後藤麻理子 早瀬 昇、加留部貴行 杉澤 経子、小原 宗一	36人

<第1回1級検定 試験結果>

受験者数	36人
合格者数	21人
合格率	58.3%

②ボランティアコーディネーションカ2級検定試験の実施 2回・3カ所

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第1回> 大阪会場 大阪NPOプラザ	8月4日（土） ～8月5日（日） 直前研修 & 検定試験	筒井のり子 早瀬 昇 後藤麻理子 栗木 梨衣	36人
<第2回> 東京会場 北とびあ	8月25日（土） ～8月26日（日） 直前研修 & 検定試験	疋田 恵子 小原 宗一 妻鹿ふみ子	39人
福岡会場 大野城市 社会福祉協議会		栗木 梨衣 早瀬 昇 後藤麻理子	29人

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪	東京	福岡	合計
受験者数	36人	39人	29人	104人
合格者数	29人	27人	22人	78人
合格率	80.6%	69.2%	75.9%	75.0%

③ボランティアコーディネーションカ3級検定試験の実施 2回（主催）

<第1回検定の実施>（通算第10回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター	6月11日（土） ・直前研修 ・検定試験	唐木理恵子 後藤麻理子	70人
大阪会場 大阪NPOプラザ <研修共催：大阪ボランティア協会>		加留部貴行 海士 美雪	53人

<第2回検定の実施>（通算第11回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター	12月8日（土） ・直前研修 ・検定試験	倉本 泰孝 三田 響子	60人
大阪会場 大阪NPOプラザ <研修共催：大阪ボランティア協会>		公文真理亜 垂井加寿恵	82人

<第1回 3級検定（主催） 試験結果>

	東京	大阪	合計
受験者数	70人	53人	123人
合格者数	61人	52人	113人
合格率	87.1%	98.1%	91.9%



<第2回 3級検定（主催） 試験結果>

	東京	大阪	合計
受験者数	60人	82人	142人
合格者数	54人	64人	118人
合格率	90.0%	78.0%	83.1%

<共催検定>

全国各地での開催を進めるために、ボランティアコーディネーションカ 3級検定を他機関・団体と共催して行った。当初の計画では4回の予定であったが、3か所で実施した。

共催団体	期 日	講 師	受験者
新しい公共新潟会議（くびき野NPOサポートセンター・新潟NPO協会共同事業体） 開催地：新潟市	1月21日（土）	唐木理恵子	54人
東京ボランティア・市民活動センター	9月25日（火）	唐木理恵子 後藤麻理子	58人
新しい公共新潟会議（くびき野NPOサポートセンター・新潟NPO協会共同事業体） 開催地：長岡市	9月29日（土）	唐木理恵子	25人

<共催検定 試験結果>

	新潟会議 （新潟市）	東京ボランティア・ 市民活動センター	新潟会議 （長岡市）
受験者数	54人	58人	25人
合格者数	44人	54人	22人
合格率	81.5%	93.1%	88.0%

<ボランティアコーディネーションカ検定合格者数>

級	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	合格者数 計
1 級	 	 	 	21人	21人
2 級	 	88人	55人	78人	221人
3 級	339人	338人	422人	350人	1,449人

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担当
◎ 1	長 沼 豊	学習院大学	1 級
○☆ 2	妻鹿ふみ子	東海大学	1 級
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1 級
4	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター	1 級
5	須藤美智子	環境パートナーシップ会議	1 級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1 級
☆ 7	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	2 級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2 級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2 級
10	早 瀬 昇	大阪ボランティア協会	2 級
11	赤澤 清孝	ユースビジョン	2 級
☆ 12	加留部貴行	九州大学	3 級
13	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3 級
14	上田 英司	N I C E	3 級
15	足立 陽子	日本ボランティアコーディネーター協会	3 級

≪ 1 級検定チーム ≫

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	6 月 4 日 (月)	J V C A 事務所	5 人
第 2 回	6 月 16 日 (日)	J V C A 事務所	3 人
第 3 回	6 月 20 日 (水)	J V C A 事務所	4 人
第 4 回	6 月 28 日 (木)	J V C A 事務所	3 人
第 5 回	7 月 9 日 (月)	J V C A 事務所	6 人
第 6 回	7 月 21 日 (土)	J V C A 事務所	4 人
第 7 回	9 月 4 日 (火)	J V C A 事務所	6 人

≪ 2 級検定チーム ≫

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	6 月 17 日 (日)	コンソーシアム京都	3 人
第 2 回	7 月 8 日 (日)	コンソーシアム京都	3 人
第 3 回	9 月 11 日 (土)	龍谷大学 ともいき荘	4 人

≪ 3 級検定チーム ≫

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	4 月 2 日 (月)	J V C A 事務所	4 人
第 2 回	6 月 10 日 (日)	J V C A 事務所	4 人
第 3 回	10 月 7 日 (日)	J V C A 事務所	4 人

⑤『ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト』の編集

⇒1級検定開始に向けて標題のテキストを分担執筆、編集、印刷した。

⑥ボランティアコーディネーションカ3級・2級検定の講師養成

⇒講師候補は研修をオブザーブし、その後講師として登壇した。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン（会員向け）の発行（月1回）

めるまが Co☆Co☆Net 第80号～第91号の発信

② JVCAリーフレットの改訂（3つ折り） 2,000部

③ ホームページの充実

団体に関わる基本情報、実施事業、等の更新、未更新情報の調査・修正など

④ 雑誌・新聞などへの寄稿 など

・ボランティアコーディネーターやボランティアコーディネーションカ3級・2級・1級検定等について、各分野の業界紙、広報紙などへの記事を執筆する。

『ボランティア情報』2012年3月1日（全国ボランティア・市民活動振興センター発行）

ボランティア国際年+10 つながって広げよう！ 取材対応：後藤麻理子

『河北新報』2012年4月1日（河北新報社）

東北再生 あすへの針路25 調整役への期待～ボランティアと被災者を結ぶ

『V o l o』2012年6月号（大阪ボランティア協会発行）

ボランティアコーディネーションカ検定4年目突入 執筆：足立陽子

『福祉だより信州』2012年9月・10月（長野県社会福祉協議会）

地域福祉とボランティアコーディネーター ～「参加」の力を信じよう①② 執筆：筒井のり子

『V o l o』2012年10月号（大阪ボランティア協会発行）

「現場は語る」平成の大合併と社協ボランティアセンター 執筆：三田響子（運営委員）

(5) 広報紙および出版物の発行

① ニュースレターの発行

『Co★Co★Net』の発行 年3回（計画発行月：4月、8月、12月）

Co★Co★Net 第35号 特集：JVCC2012を「アツ〜く」振り返る

5月20日発行 620部

Co★Co★Net 第36号 特集：ファンドレイジング5つのポイント

10月12日発行 750部

Co★Co★Net 第37号 特集：ボランティアコーディネーションカ検定システム完成

12月25日発行 1,000部

②ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト（加除式）の発行

初版 50部 6月10日発行 B5判 120頁

③ボランティアコーディネーションカ2級検定サブテキスト（加除式）の発行

改訂なし 120冊増刷

（6）調査・研究活動の推進

①「ボランティアコーディネーションカ検定」システム（1級）の確立

1級検定直前研修カリキュラムとテキストを作成し、各領域・分野における専門的な知識・スキルをもった人材の協力を得て3日間の研修プログラムを開発した。直前研修においては、テキスト執筆者を中心に講師チームを構成し、協働して研修の運営にあたった。開催後はフィードバックの場を設け、評価をおこなった。

②「JVC A認定ボランティアコーディネーター」システムの開発

2013年度に募集を開始するために検討を行ってきたが、認定研修を実施するために必要なボランティアコーディネーション業務分析を行うツール開発など、新たな研究活動の必要性がわかり、実施までのスケジュールを再検討した。

③上記2つを実施するために「検定・認定システム化検討委員会」を継続した。

・検定・認定システム化検討委員会 委員名簿

◎委員長 ○副委員長

No	委員名	所 属
◎1	筒井のり子	龍谷大学
○2	妻鹿ふみ子	東海大学
3	杉澤 経子	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
4	小原 宗一	北区社会福祉協議会
5	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター
7	須藤美智子	環境パートナーシップ会議
8	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会
9	赤澤 清孝	ユースビジョン
10	岩井 俊宗	宇都宮市民活動サポートセンター
11	上田 英司	N I C E
12	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・検定・認定システム化検討委員会の開催

※参加人数はオブザーバーを含む

回	期 日	会 場	参加人数
第 38 回	1 月 9 日 (月・祝)	J V C A 事務所	10 人
第 39 回	2 月 11 日 (土・祝)	J V C A 事務所	10 人
第 40 回	3 月 11 日 (日)	J V C A 事務所	9 人
第 41 回	4 月 14 日 (土)	J V C A 事務所	12 人
第 42 回	5 月 12 日 (土)	J V C A 事務所	11 人
第 43 回	5 月 26 日 (土)	J V C A 事務所	8 人
第 44 回	6 月 30 日 (土)	J V C A 事務所	6 人
第 45 回	8 月 8 日 (水)	J V C A 事務所	10 人
第 46 回	10 月 16 日 (火)	J V C A 事務所	9 人
第 47 回	12 月 9 日 (日)	J V C A 事務所	8 人

④ボランティアコーディネーター倫理綱領案の作成

ボランティアコーディネーターの専門職としての自覚と遵守すべき倫理を表すために、ボランティアコーディネーター倫理綱領を起草した。

2012 年 3 月 4 日 通常総会承認

⑤東京都の新しい公共支援事業の一環である「中間支援人材の養成」事業の受託

東京ボランティア・市民活動センター（東京都社会福祉協議会運営）と協働して、標記の事業に取り組み、中間支援組織のスタッフ養成のための研修体系の開発、研修プログラムおよび学習ツールの作成、研修の試行に取り組んだ。

⑥組織・団体への専門職としてのボランティアコーディネーター配置促進のための研究

検定・認定プロモーション委員会を設置し、専門職としてのボランティアコーディネーターの社会的・組織的認知をどのように向上させ、組織への配置を進めるか等、その方策を研究した。

・検定・認定プロモーション委員会 委員名簿

◎委員長

No	委員名	所 属
◎ 1	早 瀬 昇	日本 N P O センター
2	川瀬 和一	藤沢養護老人ホーム
3	小林 政夫	立命館大学サービスラーニングセンター
4	永井 美佳	大阪ボランティア協会

・検定・認定プロモーション委員会の開催

※参加人数はオブザーバーを含む

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	10 月 1 日 (月)	ガスト京都南店	5 人
第 2 回	11 月 14 日 (水)	ガスト京都南店	6 人
第 3 回	12 月 16 日 (日)	大阪 N P O プラザ	5 人

⑦東日本大震災におけるボランティアコーディネーションについての検証

東日本大震災支援に関わるボランティアコーディネーションの実態を調査し、その経過と課題を研究する計画を立てたが、着手できなかった。

(7) 相談への対応

①会員メーリングリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メーリングリストに寄せられる相談を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。

メーリングリスト利用件数 187 件

②事務局(事務所)に入った電話、メール、F A X 等での相談、問い合わせ、連絡などに対応した。

・相談件数

内 容	件数	内 容	件数
ボランティアコーディネーションに関すること	24	会員種別変更・退会	58
ボランティア活動に関すること	29	会費納入	28
研修講師相談・依頼・手続き・調整	339	事業協力・後援依頼	25
主催研修の日程／内容	72	関係(者)団体連絡先照会	8
J V C C に関すること	252	V C O 検定	423
図書購入・照会	56	震災関連	20
取 材	19	その他	58
入会希望・問合せ	15	合 計	1426

(8) ネットワーク推進事業

①C o C o サロンの開催・運営支援

- ・会員サービスの一環として、会員相互の交流を深める場（機会）として、会員が自主的に開催するC o C o サロンの新規立ち上げおよび運営を支援した。
- ・10月29日にココサロンの設置要項・支援要項とともに、新規サロンの募集を呼びかけ、立ち上げのサポートについての案内をした。

・C o C o サロンの開催状況

日 程	地 域 / 分 野	会 場	参 加 人 数	主 な 内 容
3月10日 (土)	北九州 Link 福祉施設	北九州市立 小倉南障害者 地域活動センター	30人	ボランティアの気持ち考えたことありますか？をテーマに大阪府立整肢学院の後藤光弘さんを迎えて開催。施設職員からボランティア受入マニュアルづくりに取り組んだ事例も報告され、その後、活発な情報と意見交換を行った。

5月25日 (金)	とちぎ	国際医療福祉大学 リハビリテーション センター ボランティアセンター	19人	妻鹿ふみ子さんを招いて、JVCA を設立する経緯やこれまでの取り組みなどの話をきき、これをもとに参加者でチームを組んで取り組むことでの可能性や災害時のコーディネーションなど、自由に議論を行った。
7月3日 (火)	ながの	長野市ふれあい福祉 センター	13人	ボランティアコーディネーションって・・・をテーマに筒井のり子さんを囲み、日頃のコーディネートの???を解消するためのディスカッションを行い、ボランティアコーディネーターの専門性についての意見交換をした。
11月10日 (土)	北九州 Link 福祉施設	ウエルとばた	20人	介護ボランティア制度について、行政職員の方をお迎えし、制度導入の経緯や考え方について話題提供をいただき、さらに有償の活動団体からは会員制による助け合い活動のメリット、デメリットなどについて話題提供いただき、意見交換した。
12月18日 (火)	とちぎ	白鷗大学 東キャンパス	7人	全国ボランティアコーディネーター研究集会を栃木で開催することについて検討するために、JVCA事務局にも参加を求め、共催する場合の具体的なタスクや段取りなどを共有した。

②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に協力し、連携を深めた。

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) への参加
- ・他団体が実施 (主催) する委員会等への協力、参加 (委員委嘱)
 - i) 東京都社会福祉協議会：住民活動支援モデル事業等検討委員会 (～3月)
 - ii) 東京都中央区：中央区協働推進会議 (地域振興課協働推進担当)
 - iii) 東京ボランティア・市民活動センター：市民社会をつくるボランタリーフォーラム 2013 実行委員会
 - iv) 全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
 - v) 日本NPOセンター：評議員
 - vi) 瑞穂町社会福祉協議会：ボランティア・市民活動センター運営委員会アドバイザー
 - vii) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 臨時委員
 - viii) 東京都内中間支援組織における人材育成のための研修企画委員会・作業部会

- ix) 立教大学『大学のための災害復興支援・活動マニュアル』の編集（執筆）協力
『大学のための災害復興支援・活動マニュアル』
第1部 災害ボランティアとして学生を派遣する際のポイント
http://www2.rikkyo.ac.jp/web/csc/content/saigaifukkoushien_manual_1.pdf
- x) 福島県生活復興ボランティアセンターWEBサイト「はあとふるふくしま」運営への協力

・他団体が開催する事業への後援

- i) 第48回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会／第11回日本精神保健福祉士学会学術集会（社団法人日本精神保健福祉士協会）
- ii) 第6回多言語・多文化社会研究・全国フォーラム（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター）
- iii) 市民セクター全国会議2012（日本NPOセンター）

（9）アドボカシー活動の展開

環境パートナーシップ会議の呼びかけで、除染ボランティアについての考え方と注意喚起について話し合う「福島に寄り添う円卓会議」に参加し、5月の連休に向けて『除染作業への参加を考えている方に知ってもらいたいこと』（WEB上からダウンロードできる冊子版）を発信した。

（10）東日本大震災・被災地の復興に向けた生活支援コーディネーターの養成と強化事業

・財団法人トヨタ財団からの助成金をもとに、昨年度に引き続き、福島県への支援活動を展開した。
（～4月）

- ① 福島県内の生活支援相談員（県ならびに市町村社会福祉協議会が雇用）に対する研修会を定期的実施した。（スキルアップ・ステップアップ研修の開催）
- ② 避難住民や地域住民の活動参加につながる講座や学習会を実施した。
- ③ 新たな活動者発掘のためのボランティア講座を実施した。（大学生、企業人に対するボランティア講座等の開催）
- ④ 福島の状況について全国へ発信した。（WEBサイトへの発信支援、広報紙への掲載）



- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議派遣団体活動応援資金を得て、生活支援コーディネーターのためのハンドブック作成に取り組んだ。(4月～)

生活支援コーディネーターのためのハンドブック作成委員会 委員名簿

No	氏名	所属
1	渡邊 誠一	社会福祉法人福島県社会福祉協議会
2	根本 光洋	社会福祉法人本宮市社会福祉協議会
3	黒木 洋子	社会福祉法人南相馬市社会福祉協議会
4	草野 淳	社会福祉法人いわき市社会福祉協議会
5	青田 由幸	特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク
6	古山 郁	特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ
7	土谷 一貴	ふくしま復興支援学生ネットワーク
8	李 仁 鉄	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (にいがた災害ボランティアネットワーク)
9	筒井 のり子	日本ボランティアコーディネーター協会代表理事 (龍谷大学)
10	井岡 仁志	日本ボランティアコーディネーター協会理事 (高島市社会福祉協議会)
11	阿南 健太郎	日本ボランティアコーディネーター協会運営委員 (児童健全育成推進財団)
事務局 日本ボランティアコーディネーター協会 後藤 麻理子 / 栗原 穂子		
編集協力 特定非営利活動法人うつくしまランチ 渡辺 ひろこ / 渡辺 利広 / 掃部 郁子		

生活支援コーディネーターのためのハンドブック作成委員会等の開催

回	期日	会場	参加人数
第1回	8月1日(水)	福島県総合社会福祉センター	15人
編集会議	8月16日(木)	JVCA 事務所	4人
第2回	8月30日(木)	福島県総合社会福祉センター	13人
第3回	9月26日(水)	ふくしま NGO 協働スペース	16人
編集会議	10月9日(火)	福島県総合社会福祉センター	6人
第4回	12月5日(水)	福島県総合社会福祉センター	13人

生活支援コーディネーターのためのハンドブック取材・ヒアリング

期日	取材・ヒアリング先
9月20日(木)	いわき市社会福祉協議会 / 大熊町社会福祉協議会 / 仮設住宅集会所
10月10日(水)	特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ
10月19日(金)	特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ 桑折駅前応急仮設住宅自治会 / 桑折町社会福祉協議会
10月26日(金)	南相馬市社会福祉協議会
11月2日(金)	本宮市社会福祉協議会
11月26日(月)	南相馬市社会福祉協議会 / 鹿島区応急仮設住宅

■ 2 組織運営と財政強化

(1) 通常総会 2012年3月4日、東京にて開催した。

・正会員数 353人

・定足数 177人

・出席者数 205人 (内訳) 書面表決122人 委任38人 議場出席45人

[審議結果]

第1号議案(2011事業報告・決算案) 承認

第2号議案(2012事業計画・予算案) 承認

第3号議案(VCO基本指針) 承認

第4号議案(第7期役員体制) 承認

(2) 理事会

第7期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿

(2012年4月1日～2014年3月31日)

No.	氏名	所属先	地域
1	安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センター (アドバイザー)	東京
2	赤澤 清孝	特定非営利活動法人ユースビジョン	京都
3	阿部 陽一郎	社会福祉法人中央共同募金会	東京
4	井岡 仁志	社会福祉法人高島市社会福祉協議会	滋賀
5	鶴尾 雅隆	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会	東京
6	小原 宗一	社会福祉法人北区社会福祉協議会	東京
7	加留部 貴行	九州大学	福岡
8	後藤 麻理子	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	東京
9	斉藤 悦子	日本病院ボランティア協会	北海道
10	鈴木 盈宏	トヨタグループボランティア連絡会	愛知
11	須藤 美智子	一般社団法人環境パートナーシップ会議	東京
12	筒井 のり子	龍谷大学	滋賀
13	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪
14	長 沼 豊	学習院大学	東京
15	濱屋 伸子	財団法人京都市国際交流協会	京都

理事会の開催（4回）

回	日程	会場	出席	審議事項
第38回	2月4日 (土)	JVCA事務所	14人	第1号議案 2011年度事業報告・決算案 第2号議案 2012年度補正予算 第3号議案 ボランティアコーディネーター倫理綱領 第4号議案 第7期役員体制 第5号議案 2012年度運営委員選考委員会
第39回	5月1日 (日)	キャンパスプラザ 京都 龍谷大学 サテライト講義室	14人	第1号議案 正副代表理事の選任 第2号議案 検定・認定プロモーション委員会の設置と進め方 第3号議案 東日本大震災に対する支援活動
第40回	7月21日 (土)	JVCA事務所	13人	第1号議案 2012年度上半期事業執行状況について 第2号議案 [福島支援] 生活支援コーディネーターのためのハンドブック作成委員会の設置と委員選任について 第3号議案 検定・認定プロモーション委員会の委員選任について
第41回	12月22日 (土)	龍谷大学 大阪 梅田キャンパス	13人	第1号議案 2013年度事業計画・暫定予算案について 第2号議案 2013年度試験委員の任命について

(3) 監事監査の実施

2011年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2012年 1月30日(月) 場所 JVCA事務所

監事

No.	氏名	所属先
1	石川 到覚	大正大学
2	早坂 毅	税理士・NPOコンサルタント

(4) 委員会

①運営委員会 月1回、12回開催した。

i) 2012年度運営委員体制(2012.4-2013.3)

NO	氏名	地域	所属
1	岩浪 武司	山形	鶴岡市第四学区社会福祉協議会
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	阿南健太郎	東京	児童健全育成推進財団
4	唐木理恵子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
5	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会
6	小林 郁義	東京	特定非営利活動法人こらそん
7	後藤麻理子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
8	足立 陽子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
9	上田 英司	東京	特定非営利活動法人NICE
10	鹿住 貴之	東京	JUON NETWORK
11	熊谷 紀良	東京	東京ボランティア・市民活動センター
12	吉田 真也	東京	東京ボランティア・市民活動センター
13	妻鹿ふみ子	神奈川	東海大学
14	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会 城山地域事務所
15	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
16	坂口 平	長野	
17	山方 元	愛知	愛知県立豊橋工業高等学校
18	田中 利昌	愛知	名古屋市市民活動推進センター
19	渡邊 文人	愛知	愛・地球博ボランティアセンター
20	野尻 紀恵	愛知	日本福祉大学
21	福本 滋		
22	小林 政夫	京都	立命館大学サービスラーニングセンター
23	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
24	早瀬 昇	大阪	大阪ボランティア協会
25	岡村こず恵	大阪	大阪ボランティア協会
26	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
27	垂井加寿恵	兵庫	神戸市中央区社会福祉協議会ボランティアセンター
28	公文真理亜	福岡	北九州市社会福祉協議会
29	加留部貴行	福岡	九州大学
30	粟津 剛史	福岡	大野城市社会福祉協議会

※所属は2012年12月末現在

ii) 運営委員会の開催

計画通り、運営委員会を開催した。

※合宿に参加した役員 5 人を含む

回	日程	会場	出席
第 1 回	1 月 14 日 (土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	14 人
第 2 回	2 月 12 日 (日)	東京しごとセンター	15 人
第 3 回	3 月 25 日 (日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	12 人
第 4 回	4 月 29 日 (日・祝)	東京ボランティア・市民活動センター	19 人
第 5 回	5 月 20 日 (日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	15 人
第 6 回	6 月 24 日 (日)	飯田橋セントラルプラザ	19 人
第 7 回	7 月 29 日 (日)	琵琶湖湖畔おごと温泉 湯の宿木もれび	24 人※
第 8 回	8 月 18 日 (土)	東京ボランティア・市民活動センター	13 人
第 9 回	9 月 17 日 (月・祝)	京都市下京いきいき市民活動センター	13 人
第 10 回	10 月 8 日 (月・祝)	東京ボランティア・市民活動センター	15 人
第 11 回	11 月 11 日 (日)	日本福祉大学 名古屋キャンパス	17 人
第 12 回	12 月 2 日 (日)	フォーラムミカサ エコ	17 人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進した。

- i) 広報普及委員会 …会員新規拡大、ホームページコンテンツ、内容、デザイン等の充実、文献データベース更新、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般

■メンバー：疋田恵子、熊谷紀良、橋口文博、渡邊文人、小林政夫、栗原穂子、野尻紀恵、吉田真也、栗津剛史、岡村こず恵、山崎富一、中村彰利、北出真由美、北村裕子

回	日程	会場
第 1 回	1 月 14 日 (土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第 2 回	2 月 12 日 (日)	東京ボランティア・市民活動センター
第 3 回	3 月 25 日 (日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第 4 回	4 月 29 日 (日・祝)	東京ボランティア・市民活動センター
第 5 回	5 月 20 日 (日)	大阪市立総合生涯学習センター
第 6 回	6 月 24 日 (日)	飯田橋セントラルプラザ
第 7 回	7 月 28 日 (土)	琵琶湖湖畔おごと温泉 湯の宿木もれび
第 8 回	8 月 18 日 (土)	東京ボランティア・市民活動センター
第 9 回	9 月 17 日 (月・祝)	京都市下京いきいき市民活動センター
第 10 回	10 月 8 日 (月・祝)	東京ボランティア・市民活動センター
第 11 回	12 月 2 日 (日)	東京ボランティア・市民活動センター

この他に、スカイプ会議を月 1 回程度開催

- ii) 会員サービス委員会 …CoCoサロンや、Co☆Co☆Net 編集、会員メーリングリストの活性化など、会員継続支援や会員に向けた広報

■メンバー：倉本泰孝、垂井加寿恵、山方元、坂口平、岩浪武司、三田響子、福本滋、阿南健太郎、公文真理亜、足立陽子、平田麻理、西村こころ

回	日程	会場
第1回	1月14日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第2回	2月12日(日)	スターバックス・コーヒー 飯田橋アイガーデンテラス店
第3回	3月25日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第4回	4月29日(日・祝)	東京ボランティア・市民活動センター
第5回	5月20日(日)	旬彩料理新浪花
第6回	6月24日(日)	飯田橋セントラルプラザ
第7回	7月28日(土)	琵琶湖湖畔おごと温泉 湯の宿木もれび
第8回	8月18日(土)	ファーストキッチン 飯田橋ラムラ店
第9回	10月8日(月・祝)	ファーストキッチン 飯田橋ラムラ店
第10回	12月2日(日)	バーガーキング 神田店

- iii) 研修開発委員会 …基礎研修等やファシリテーション講座等の調整、準備、実施

■メンバー：後藤麻理子

回	日程	会場
第1回	8月19日(日)	東京ボランティア・市民活動センター

- iv) J V C C企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会2013の企画、今後のあり方検討

■メンバー：唐木理恵子、野尻紀恵、三田響子、小林政夫

回	日程	会場
第1回	4月29日(日・祝)	東京ボランティア・市民活動センター
第2回	10月8日(月・祝)	東京ボランティア・市民活動センター

- v) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、事業計画にもとづく予算作成

■メンバー：早瀬昇、小林郁義、鹿住貴之

回	日程	会場
第1回	2月24日(金)	J V C A事務所
第2回	4月29日(日・祝)	東京ボランティア・市民活動センター
第3回	8月18日(土)	J V C A事務所
第4回	12月1日(土)	J V C A事務所

③プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

- i) 東日本大震災災害支援チーム(トヨタ財団助成プロジェクト→ハンドブック作成)
ii) ボランティアコーディネーター倫理綱領作成チーム

(4) 会員拡大および会員サービスの充実

① 会員拡大に関する取り組み

- ・ボランティアコーディネーションカ3級検定合格者に対し、J V C C 2 0 1 2 開催と入会の案内を行った。
- ・全国ボランティアフェスティバルへ J V C A P R ブースを確保し、出店した。(J V C A ・検定等の P R、図書販売など)
- ・ J V C A の組織と事業の概要を案内するプロモーションスライドを作成し、研修やイベント出典等の際の P R に活用した。
- ・主催研修、講師派遣研修などでの J V C A パンフレット、ボランティアコーディネーター基本指針、会員勧誘チラシの配付をした。

(5) 事務局運営の充実

① 事務局担当理事の設置 安藤雄太理事を選任した。

10月5日(金) 事務局スタッフ個別ヒアリング、次年度職員体制についての協議

② ボランティアコーディネーションに関わる拠点機能の強化

事務所移転に伴い、事務所を各種の委員会、ミーティングスペースとして活用した。

ボランティアならびにコーディネーションに関わる図書や文献を収集し、閲覧用に配架した。

③ 週1日勤務の経理担当アルバイトスタッフについて、週2日の非常勤雇用に切り替えた。また、12月より J V C C 2 0 1 3 事務局担当のアルバイトを採用した。

(6) 財源の確保と財政運営

① 会費や寄付金収入の拡大 … 会員に対して新年度会費納入のお願いを行った。 3回

② 事業収益の拡大 … 検定受験者を確保するための広報を積極的に行った。1級検定は申し込みが定員を超え、4名お断りした。 基礎研修(東京開催)は定員を大幅に超えた。

③ その他財源の拡大(助成金、委託事業など)

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議の協力団体応援資金に申請し、採択された。

(2012年4月～2013年3月)

(7) 認定NPO法人格取得申請

- ① 2010年、2011年の寄付実績(PST条件クリア)をもって、認定NPO法人の申請を行ったが、事前調査の過程で全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)の経理処理が認定NPO法人の要件に不適合(単式簿記処理)な部分が見つかり、申請を取り下げた。その後、2013年度に申請することを目標に修正作業を進めている。